

## 令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑧	学校名	明日香養護学校
----	---	-----	---------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	明日香の地域発見プロジェクト<中学部>
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	特別活動（ホームルーム）の時間で実施。作物等の栽培を通じて、地域社会とどのようにつながれるかを探求する。役場や村内の農家の方等と連携して、作物の育成、収穫から、村内の公共施設や道の駅等に飾る等の一連の活動を行い、拠点の活性化につなげていく。
連携・協働相手	明日香村役場及び村内在住の農家等
地域と共有している目標・課題等	障がいによる様々な制約があり、実体験を伴う活動が限られている生徒と地域の方々と繋がる機会は日常的に少ないことが課題であるために、地域の協力を得て、活動、振り返りを繰り返す活動を行うことを目標に本事業を実施する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>役場と連携して、村内で生産されている作物を、生徒ができる範囲で育成し、出来上がった作物を村内の公共施設や道の駅、販売所等に置いて、交流活動を行うと共に拠点の活性化につなげていく。栽培においては、農家の方に教えていただきながら、どのような手順や準備が必要となるかを考えて取り組む。また、自分たちの活動をどのように校内外へ伝えていけばいいのかも考えながら、日々の学校生活の中で、実体験を伴う活動も行う。問いを考えられる生徒の数が限られるため、教員の考えた質問事項も参考に行う。校内外への広報活動として、各自分担して壁新聞や販売所に置くPOPを作成したり、栽培を通じて明日香村に対してどのようなことができるかを考えたりする。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>今年度より、明日香村役場と連携し、村内の農家の方にも携わっていただいて、20年以上生産している黒豆の栽培を行うこととなった。1年目の活動であり、生徒にできることは何か、教員ができることは何かなど、その都度探りながらの活動となった。種の植え付けでは、これまでの学習で得た経験を生かして取り組もうとする姿や、収穫の場面では、黒豆の枝豆を一生懸命に袋詰めする生徒達が多く見られた。また、たちばな祭では、来校した保護者に自らことばかけをして配布することもできた。課題として、当初は道の駅等の農産物直売所での配布も計画していたが、次年度への持ち越しとなった。また、畑での栽培途中の経過を生徒たちに伝えていくことが十分に行えなかった。今回の活動を通じて、どのくらいの生徒が、地域とのつながりを感じることができただろうか。より身近に地域とのつながりを感じるための工夫などが課題とされる。次年度以降も継続して実施することとなっている。地域の方と継続してつながりあいながら、明日香養護学校の中学部の生徒達が果たせる役割を探っていきたい。</p>
--

